

2017年度岩手大学環境目的、目標及び活動計画

IE1-5-1
最終改定日
2017.3.24

2017年度								
環境方針等	EA21 要求事項	環境目的	環境目標	活 動 計 画 (行動の責任部署が具体的にを行う行動)	行動の 責任部署	監視測定 責任部署		
I,キャンパス環境の改善		PDCAサイクルによる環境マネジメントシステムを運用する。	エコアクション21を認証取得する。	1. エコアクション21の認証審査を受審する。	EMS推進室(WG・全ユニット・EMSC)	EMS推進室		
			「環境方針」「環境目的、目標及び環境活動実施計画」の周知状況を確認する。	2. 構成員に対し、アンケート調査により「環境方針」「環境目的・目標及び環境活動実施計画」の周知に関する状況を把握する。【2016内部監査】	EMS事務局	EMS推進室		
II エネルギーの使用	二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー)	エネルギー使用及びCO2排出量の削減を図る。	エネルギー使用及びCO2排出量(原単位)を平成28年度比1%の削減を図る。	1. 建物別電力使用量のベンチマークを設定し、CO2排出量(原単位)を算出する。	環境影響評価WG	EMS推進室		
				1. 時間外勤務の場合の照明は必要範囲に限定する。				
				2. 空調機の運転時間及び室温設定の最適化を図る(原則として時間外の運転禁止)。				
				3. 定時退勤日は18:00までに消灯する。				
				4. 昼休み消灯(窓口業務を除く。)を確実に実施する。				
				5. 階段利用の促進を行う。			該当ユニット	EMS推進室
				6. エアコンの設定温度の周知を行う。				
				7. 学部管理棟の電気・ガス・水道の使用量を毎月取りまとめ、その結果を周知して無理のない節約の徹底に努める。				
				8. 時間外勤務の場合の暖房は必要範囲に限定する。				
9. 大型改修工事を行う場合は、年間CO2削減予想量を算出する。								
III, 資源の使用	総排水量削減(節水)	資源の使用量を削減する。	用紙類の使用を前年度比1%以上、削減する。	1. 印刷機の両面印刷、コピー機の省資源機能(中とし印刷・Nアップ等)を積極的に活用するよう周知を行う。	該当ユニット	EMS推進室		
				2. ICT機器等の利用により会議のペーパーレス化を積極的に実施する。				
				3. 学生への配布物、学生からの提出物のペーパーレス化について、できるところから実施する。				
化学物質使用量削減	化学薬品購入量の推移を明らかにする。	1. 2012年度からの毒劇物の購入量を明らかにする。	環境影響評価WG 安全衛生管理室	EMS推進室				
IV, グリーン購入	グリーン購入	岩手大学グリーン調達方針に基づく調達を行う。	環境配慮型製品を優先的に購入する。	1. 岩手大学における「環境物品等の調達の推進を図るための方針」に基づき製品の購入を行うよう周知する。 2. 消耗品について、出来るだけ詰替があるものを購入する。	該当ユニット	EMS推進室		
V, 廃棄物等の排出	廃棄物排出量の削減(リサイクルの推進)	廃棄物の発生を抑制する。	廃棄物の分別を徹底し、廃棄物の資源化を図る。	1. ゴミの分別を徹底するよう周知を行う。	該当ユニット	EMS推進室		
				2. 職員立合による資源ゴミ回収を継続する。				
				3. 上田キャンパスにおける廃棄物のリサイクルの状況について確認する。	EMS事務局 EMS学生委員会	EMS推進室		

VI. 環境教育 環境人材教育	環境に関する教育 (環境人材の育成)	大学における環境教育・環境人材育成を推進する。	環境教育・研修の推進を図り、全学で「持続可能な共生社会に寄与する環境人材育成」を進める。	1. 「安全マニュアル」における地震発生時の対応項目が時系列的に整理されているか確認し、必要に応じて修正する。 2. 構成員における環境教育・環境への取り組みの理解度を確保するWebコンテンツの開発を検討する。	総務部	EMS推進室
		附属学校における環境学習の充実・発展を図る。	附属幼稚園では、花や野菜の栽培を通して、植物が育つ環境についての関心をもたせる活動を行う。	1. 花の野菜を栽培し、水遣りや草取りなどの世話をすする。育てた花を遊びの中に取り入れたり、野菜の収穫の喜びを味わったりして、自然の美しさ、豊かさ、不思議さ、などに気づく。	附属幼稚園	当該ユニット責任者
				1. 総合的な学習の時間に3年「わたしたちの中津川」の単元で、中津川と自分たちの生活とのかかわりについて学ぶ。中津川の自然を観察したり、水質調査や街路樹調べを行ったりしながら、環境問題について考える学習を行う。	附属小学校	当該ユニット責任者
			附属小学校では、「総合的な学習の時間」等を活用し、自然観察や地球温暖化の学習など環境について学ぶ場を創る。また、委員会やたてわり活動を通して、環境に配慮した活動を行う。	2. ボランティア委員会等の活動として、学校周辺や加賀野地下道のゴミ拾い、冬季の除雪作業などを行う。	附属小学校	当該ユニット責任者
				3. 2年生「小さな旅」、5年生「林間学校」の学習の中で、自然環境の大切さや、よりよい環境を維持するための取組を知る。	附属小学校	当該ユニット責任者
				4. 気象システムを活用し、理科の学習を通して環境について学習する。	附属小学校	当該ユニット責任者
				校舎内外の環境美化活動、環境保護活動として、次の取組を行う。 1. 日常での清掃活動の見直し	附属中学校	当該ユニット責任者
			附属中学校では、環境を守りはぐくむ心と感受性を育て、環境美化活動、エネルギーの節約等に配慮した生活・行動を実践できるよう指導する。	2. 生徒会活動による校地及びその周辺の清掃・環境美化活動	附属中学校	当該ユニット責任者
				3. 日番・週番活動による学校環境向上の取組	附属中学校	当該ユニット責任者
				4. ボランティア委員会による附属幼稚園等の清掃・環境美化活動	附属中学校	当該ユニット責任者
				附属特別支援学校では、作業学習等で使用する原材料のリサイクル化を押し進めるとともに、委員会活動や生徒会活動における資源回収を通して環境活動を実施する。	1. 廃油を活用した「リサイクル石けん」や地域のりんご園等から提供された材料を使った「クラフト製品」は、中学部の作業学習で取り組む。	附属特別支援学校
		2. 空き缶、古新聞等の「資源回収」は全校に呼びかけ、中学部の委員会活動で取り組む。	附属特別支援学校		当該ユニット責任者	
		3. 高等部生活委員会の活動で、ペットボトル回収の呼び掛け、回収、洗浄を行う。	附属特別支援学校		当該ユニット責任者	
		学生の自主的な環境保全活動を推進する。	EMS学生委員会では環境活動を積極的に実施する。	1. 環境マネジメント全国学生大会を実施する。	EMS学生委員会	EMS推進室
				2. 各チームで活動計画を決め自主活動の向上に努める。	EMS学生委員会	EMS推進室
VII環境関連研究	研究及び地域や社会への還元	大学・大学院における環境関連研究を推進する。	各学部・研究科の特色を活かした環境関連研究を推進する。	1. 高齢被災者による太陽光パネル市民共同発電所の設置・運営と中小企業のエネルギーシフト・ウェンデ運動に基づく持続可能な地域社会の形成要件・メカニズムを検討する。	人文社会科学部	EMS推進室
				1. 「学校气象台」のデータを活用し、地域の学校における授業活用を推進する。	教育学部	EMS推進室
				1. ソフトパス理工学総合研究センター及び学部・研究科における環境関連研究を推進する。	理工学部	EMS推進室
				1. 平成29年度環境管理委員会において選択する。	農学部	EMS推進室
VIII. 構内事業者の取組	構内事業者の環境配慮活動の推進を図る。	放送大学岩手学習センターにおいて環境に配慮した取組を実施する。	1. 放送大学学生に環境保全活動の啓発を推進する。	放送大学岩手学習センター	当該ユニット責任者	
			1. リリパック容器リサイクル向上に向けた活動を行う。	岩手大学生協	当該ユニット責任者	
			2. レジ袋の使用率削減に向け生協学生委員会とともに活動する。	岩手大学生協	当該ユニット責任者	
IX. 地域社会に対する取組	社会貢献	環境に関わる三陸復興事業を進める。	三陸沿岸地域等の復興推進のための取組を行う。	1. 関係自治体等と連携を図り、農地復興等の研究を進める。	地域創生推進課	EMS推進室
X. 法規制順守		環境に関わる法規制を遵守する。	改正された法規制の中から重点項目を選定し、順守する。	1. 改正フロン法に関わる点検対象機器を再確認し、点検方法を確立し、実施する。	財務部	EMS推進室

岩手大学環境負荷軽減基本活動

環境方針等	環境目的	環境目標	実施計画	行動の責任部署	
エネルギーの使用 電気・A重油 ガソリン・ 都市ガス 灯油	エネルギー使用量及びCO2排出量の削減を推進する。	光熱量の見える化などにより、教職員、学生、構内事業者への意識啓発を実施する。	1. 建物別の電力使用量を見える化モニタに表示する。 (理工学部食堂・農学部食堂)	EMS推進室	
			2. クールビズ、ウォームビズを実施する。	全ユニット	
		空調機器の節電を図る。	使用停止できる場合		
			3. (夏) 代替えとして扇風機、うちわ等を活用する。	全ユニット	
			4. (夏) 換気のため窓とドアを開放する。	全ユニット	
			使用停止できない場合		
			5. (冷房時) 室温 28℃以上、 (暖房時) 室温 19℃以下を徹底する。 「ただし、熱中症対策について(通知) (平成26年6月26日付け岩手大学総括安全衛生管理者からの通知)を遵守する。」	全ユニット	
			6. フィルターの定期的な清掃を行う。 (2週間に一度程度が目安)	全ユニット	
7. 機器保守(サーバー室、実験室等)等のための使用においても、適切な温度管理を徹底する。	該当ユニット				
機器等の適切な運用により省エネルギー化を推進する。	8. トップランナー方式による電気機器の更新を図り、節電節約を行う。	全ユニット			
用紙類の使用	用紙類の使用量を削減する。	用紙類の使用量を削減する。	1. 両面印刷を原則として取り組む。	全ユニット	
水資源の使用	排水の適正な管理を促進する。	排水の管理を徹底する。	1. 排水の定期的な水質調査を実施する。	施設管理課・安全衛生管理室	
グリーン購入	岩手大学グリーン調達方針に基づく調達を行う。	環境配慮型製品を優先的に購入する。	1. 岩手大学における「環境物品等の調達の推進を図るための方針」に基づき製品の購入を行う。	全ユニット	
環境教育 環境人材育成	学生の自主的な環境保全活動を推進する。	環境関連の学生サークル等の活動を支援する。	1. サークル等の取り組みに対し、適切な指導・助言及び支援を行う。	学生支援課 EMS学生会 生協学生委員会	
地域社会に対する取組	環境関連の取組を地域社会に情報発信するとともに、地域の環境活動に協力する。	地域の環境活動に協働して取り組む。	1. 環境に関する外部委員会等への就任依頼に対し積極的に参加・協力を行う。	学術研究推進部、学部・研究科ユニット、三陸復興・地域創生推進機構	
			2. 環境に関する地域からの要望に対し、学部・研究科の特色を生かした公開講座や地域課題解決プログラムに取り組む。	学部・研究科ユニット、三陸復興・地域創生推進機構	